

すなお

令和3年9月号



おやのことば

遠慮気兼ありては隠し包みも
同じ事、教え一つの理に違う
か違わんか察してみよ。

明治三十年一月十五日

先月末に一年に一度の生活習慣病をチェックすることが目的の特定健診に行って来ました。結果は”メタボ”ではなかつたのですが、いくつかる『要観察』という項目がありました。身体の中は外からでは分かりませんので時に調べてもらい、かりもの的身体を大切に使っているかを確認することが必要です。項目の中で「体重が増えています」と言われました。確かに前回の検診の記録を見ると五キロ増えていましたので、これは間違いない事実ですが、自分ではそんなに太つている感覚はないのですが、他の数値の関連から言えばもう少し痩せた方が良いようです。（でも、私より太つている人も大勢いるようですが、その人達はどうなつているんだ）と心の叫びが聞こえます。でも、他人は他人です。これと同じような事を私達はついつい考えてしまいますし、全ての事に当てはまるよう思います。例えば（あの人なんでもんなに幸せなんだ）とか。（あの人なんで上手く出世するんだ）とか。（なんで自分だけ病気になるんだ）とか。（次ページへ）

会長

中和大教会創立130周年記念祭 執行
令和3年10月10日(日)

*当日は午前10時より教會長夫妻、おつとめ奉仕者のみでつとめますので、信者の皆さんはそれぞれの場所より遙拝をしてつとめて下さい。



すなお (立教184年9月号)

通 巻
發行所

No.734
天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
0898-23-5004

FAX 0898-23-5123
発 行 日 2021.9.16
二 宮 英 治

責任者



神様の用事を通して

椿 信代

先日、家のパソコンが新しくなりました。今まで使っていたものがもうすぐ購入から10年というところで、かろうじて動いてはいるもののたまに挙動がおかしかったり、OSのサポートも終了したためこのままでは中のデータが危ないということで思い切って買い替えたという次第です。

遡ること約10年前、大学入学にあたり「教会から離れても神様のことを変わらず続けるように」と親会長さんから贈ってもらったパソコンでした。毎月原稿を書いてそれをウェブサイトにアップするという役目を任せられ、大学やバイトの合間に作業をしていましたが、生活の忙しさを理由に後回しにしてしまったことが何度かありその度にきつく怒られました。「作業自体をやらんのがダメなのではない、信代の心が神様から離れてしまうのがあかんのや」と繰り返し繰り返し仕込んでいただきましたが、あれは私の未来を思ってのことだったのだとうやく気づいた頃には親会長さんはもういなくなっていました。

古いパソコンを触っているとあの頃のことを思い出します。神様の用事を頼まれたとき、目の前のことだけを見て面倒だとか大変だと思ってしまいがちだったのですが、これからはその先に親が何を伝えたいのかを考え、そして神様がその用事を通して守ってくださるのだと信じて生きていきたいと思います。

教会ニュース

修養科入学

今月1日より佐々木長行さんが本部修養科に入学され、少ない人数の中ではありますが勇んでつとめてくれています。

訃報

今月8日、長年教会役員をつとめていただいた田中照子さん（享年95歳）が出直しさされました。8日夜に遷靈祭、9日に告別式を会長斎主のもと、現在のコロナ禍を考え身近な家族のみでつとめられました。



周囲をうらやんだり妬んだりとなかなか自分の現状をすなおに受け入れられないものです。今の私の現状においても文句を言つてゐる間は、きっと何にも変わらないと思います。変わるためにには運動、食事内容の検討や食事量の減、間食なしを実行しなくてはなりません。

その上、自らの運命を変えるためには、変えるための積み重ねをしなければなりません。分かりやすい言葉で言えば「感謝・慎み・助け合い」でしょうか。感謝して徳を増やし、慎みの日々を送り徳を減らさない、そして助け合いこそ最高の切換の近道です。さあ、頑張りましょう。



田中照子さんとの思い出

二宮鈴代

田中照子さん、95歳で出直しさされました。静かな静かな痛みも苦痛もない出直しでした。

照子さんは親会長さんが昭和35年今治の地へ布教に来られた次の朝、照子さんの姑（田中あさよ）さんの厳しい身上のお助けにかられた、その時からの出会いでした。

当時、家族が抱えるさまざまな身上や事情に心を痛めていた照子さんの心に信仰の火を燃え立たせました。入信当初の照子さんの凄まじいまでのつとめ振りは忘れる事が出来ません。瀬戸路分教会の草分けの時代から移転建築をなし近見へ。その道中にはいつも照子さんの大きな存在がありました。

においがけ、尽くし、運びはもとより影にあってそつとつとめて頂いた数々の思い出に私は心から御礼申し上げました。そのつとめられた功績により3代目（孫）の世代まで信仰を残されました。御苦労様でした。ありがとうございました。